大杉第二小学校における緊急時(アナフィラキシー発症時)の対応

◆ 教職員の役割分担

	<u> </u>
管理職	主な「役割」
	□ 現場に到着し次第、リーダーとなる。
	□ それぞれの役割の確認および指示
	□ ★ エピペン®の使用または介助
	□ 心肺蘇生や AED を使用
教職員 A 班「準備」	主な「役割」
健康(6名)	□ 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を持ってくる。
養護教諭・栄養士	□ エピペン®の準備
	□ AED の準備
	□ 内服薬の準備
	□ ★ エピペン®の使用または介助
	□ 心肺蘇生や AED を使用
教職員 B 班「連絡」	主な「役割」
研究(5名)	□ ★ 救急車を要請する(119番通報)
	□ 管理職を呼ぶ
	□ 保護者への連絡
	□ さらに人を集める(校内放送など)
教職員 C 班「記録」	主な「役割」
生活 (5名)	□ 観察を開始した時刻を記録
	□ エピペン®を使用した時刻を記録
	□ 内服薬を飲んだ時刻を記録
	□ 5分ごとに症状を記録
教職員D班「その他」	主な「役割」
特別活動(7名)	□ 他の子供への対応
非常勤講師・事務・主事	□ 救急車の誘導
	□ ★ エピペン®の使用または介助
	□ 心肺蘇生や AED の使用

^{*} アナフィラキシーショックを起こした児童の学年が中心となって動く。管理職、担任、養護教諭が不在の場合も想定し、各班の中で役割を決めておく。